

令和元年

第 11 回 10 月 定例教育委員会議事録

令和元年 10 月 31 日

大野城市教育委員会

次 第

- 1 招集日時
○招集日 令和元年 10 月 31 日
○開会時間 午前 10 時 00 分
○閉会時間 午前 10 時 35 分
- 2 招集の場所 大野城市役所 本館 4 階 委員会室 3
- 3 会議次第
 - (1) 議事録署名委員
令和元年第 10 回議事録の署名委員 安部 一枝 委員
今回議事録の署名委員 松本 民仁 委員
 - (2) 議事 なし
 - (3) 教育長報告 なし
 - (4) 報告
 - ①卒業式及び入学式等の日程について
 - ②令和 2 年度大野城市奨学資金奨学生の選考結果について
 - (5) その他
 - ①教育長の業務報告 (10 月分)
 - ②教育委員会の主な行事・業務の予定 (11 月分)
- 4 出席した委員等 吉富 修 (教育長) 安部 一枝 高木 和敏 梶原 千春
松本 民仁 高野 英機
- 5 欠席した委員 なし
- 6 出席した職員 教 育 部 長 平田 哲也
教 育 政 策 課 長 橋元 啓樹
教 育 振 興 課 長 千葉 太
教 育 指 導 室 長 梶 幸男
ス ポ ー ツ 課 長 神崎 康則
ふるさと文化財課長 石木 秀啓
教育政策課係長 葉山 賀瑞江
教育政策課担当 藤岡 良栄
- 7 会議の書記 教育政策課教育政策・支援担当 藤岡 良栄

午前10時00分 開会

○吉富教育長

ただいまより令和元年10月定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

つい先日、福岡教育事務所管内教育長研修会が新宮町と久山町の会場であり、参加させていただきました。ご存じのように新宮町はイケア、カインズといった近郊大型小売店舗等、極めて集客能力が高い店舗の設置で、非常に人の行き来が多いところでした。イケアのすぐそばにあります研修会場で研修を受けました。

それから、新宮東中学校、大変立派な学業成績を修めている学校ですが、そちらに行き参りました。学校のレイアウトが、いわゆるかまぼこ兵舎の校舎ではなくて、防災を前提としたレイアウトでした。もともと避難所になる運動場と校舎の間には最初から下水便所がつくっておられて、学校には備蓄倉庫が運動場の横にずら一と並べてありまして、いつでも防災拠点として機能する学校ということでスタートしてあります。

それから、新宮町町民全部が避難してきても賄える校庭の広さと、いろんな個別的な指示を効果的にするために、中庭が風を防ぐような形で、校舎で覆ってつくってありまして、2階、3階から避難者の動きを把握しつつ指示が出せるようなレイアウトにしてありました。すばらしかったです。

それから、中学校の先生方は学年での会議が大変多くて、学年ごとに自立的に動くという行事が多い特筆を持つ学校ですけれども、学年職員室がそれぞれの学年ごとの横にありまして、一日の大半はそこで仕事をしてあるということも聞きました。

それから二つ目は、久山町です。こちらは昔から九大と医療提携を結んであって、先進的な医療がなされているところでもあります。公立のけやきの森幼稚園に伺いましたが、一切鉄筋が見つからない、久山町にある木材をふんだんに利用してつくってありました。本当に細部にわたって木でつくってあって、子どもたちの小さな手にとげが刺さらないような細工がしてありまして、ほんとうに肌ざわりがよい造りでした。また運動場についても、大きなトラックとフィールドがつくってありまして、地面に芝生が敷いてありました。年長から年少まで、どのクラスからもそのまま運動場にざ一と出られるようなレイアウトにしてあります。また、雨のときでも子どもたちが遊べるように、藤棚みたいところに屋根を張った施設設備が用意してありました。

久山町全体で待機児童が30人程度だということで、大変頑張っているところを見せていただきました。

以上、報告をさせていただきます。ありがとうございました。

〔会議録承認〕

○吉富教育長

議事録の承認に入らせていただきます。前回の9月定例会にて、安部委員さんをお願いしておりましたので、早速署名をお願いいたします。

○安部委員

はい。

○吉富教育長

どうぞよろしく申し上げます。今回の議事録の署名につきましては、次回の委員会において松本委員さんをお願いいたします。

○松本委員

はい。

○吉富教育長

よろしく申し上げます。

〔議 事〕

○吉富教育長

3番、議事。今月は議案として提出されているものはございませんので、進行を進めさせていただきます。

〔教育長報告〕

○吉富教育長

教育長報告。教育長報告も今回は特に委員の皆様の説明し、今後の資料として活用していただくものはございません。

〔報 告〕

○吉富教育長

5番、報告になります。日程的に非常に重要な案件が入っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。卒業式及び入学式等の日程につきまして説明をお願いいたします。

○橋元教育政策課長

それでは、私のほうから卒業式及び入学式の日程についてご説明をさせていただきます。1ページをお願いいたします。

本年度の小学校、中学校の卒業式、次年度の小学校、中学校の入学式及び始業式を書かせていただいています。小学校につきましては、卒業式が令和2年3月17日火曜日、入学式が令和2年4月10日金曜日になっております。中学校につきましては、卒業式が令和2年3月13日金曜日、入学式が令和2年4月9日木曜日ということになっております。最後に、小学校、中学校の始業式につきましては、どちらも令和2年4月6日月曜日ということになっております。

卒業式、入学式のご出席の割り振りににつきましては、後日またご依頼をさせていただこうと思っておりますので、どうかよろしくをお願いいたします。

説明は以上です。

○吉富教育長

橋元課長、ありがとうございます。それぞれお忙しいとは思いますが、卒業証書授与式、入学式等にご出席いただく日程もございますので、日程の中に組み込んでいただいておりますように、どうぞよろしくをお願いいたします。

何かご確認はございませんか。よろしいでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

○吉富教育長

では、(2)令和2年度大野城市奨学資金奨学生の選考結果について、説明をお願いいたします。

葉山係長、お願いいたします。

○葉山教育政策課係長

資料の2ページ、3ページをごらんください。令和2年度大野城市奨学資金奨学生の選考結果についてご報告いたします。

例年、大野城市奨学資金奨学生の選考につきましては、選考委員会を開催しており、今回は8月29日木曜日を予定しておりましたが、大雨の災害対策等により中止となりました。本来であれば委員会を別日に開催するところではございましたが、選考委員の皆様の日程の調整をしたところ、開催が難しかったため、個別に選考委員にご承認をいただきましたので、結果をご報告いたします。その節はご協力いただき、ありがとうございました。

選考基準につきましては、学業成績、家族の収入、作文をもとに選考し、その結果、高等学校・高等専門学校奨学生は14名の申し込みに対し、5名の内定と2名の補欠、大学奨学生については、3名の申し込みに対し、2名の内定と1名の補欠となりました。

該当者の内訳につきましては、3ページの一覧のとおりとなっております。よって、内定者は合計7名、補欠3名となりましたので、ご報告を申し上げます。

報告は以上です。

○吉富教育長

報告が終わりました。ご確認、ございませんか。よろしいでしょうか。

高木委員、お願いいたします。

○高木委員

お尋ねします。今回7名だったですかね。この授与式があると思うんですが、伝達式ですかね、家庭か学校に行って、その後、奨学金が給付されますよね。それはもう振り込みですか。それとも、こちらにおいでになって、「きちんとした奨学生として頑張ってください」とか何かそういうやり取りがあってから給付されるんですか。

○吉富教育長

説明をまとめてどうぞ、お願いいたします。橋元課長。

○橋元教育政策課長

今ご質問があった2点についてお答えします。通知については、こちらのほうにお呼びをして何かするというのはございません。通知文書を発送する予定でございます。奨学金については、振り込みをすることになっております。

○高木委員

それはもう直接家庭ですよ。学校経由じゃないんですよ。

○橋元教育政策課長

違います、ご家庭に振り込みます。

○高木委員

そうですね。もう1点、いいですか。

○吉富教育長

どうぞ、お願いいたします。

○高木委員

これは、高校3年間ですよ。大学生だと4年間ですよ。3年分また4年分、まとめての給付なんですか。

○橋元教育政策課長

毎年、年に4回給付しております。

○高木委員

分けてですか。わかりました。

○吉富教育長

いいですか。

○高木委員

はい。なぜ私がこういう質問をするかということ、太宰府天満宮の奨学金があるんですが、奨学金伝達式が3月末にいつもあるんです。保護者と本人とが行って、励ましの言葉が太宰府の余香殿であって、そして、その後2年生、3年生もたしか来てたような気がします。そこでまた、頑張りなさいという励ましや、頑張ってるという報告をしています。

また先日、教育事務所で人権に関する教育委員の研修があったんですね。その時、高校に入ったとしても中途退学すると、どうしても学歴が中卒になりますよね。いろんなご説明や実態をお話しされて、高卒、大卒との比較すると、経済格差が非常にあります。奨学金を寄附されて頑張る生徒は、まさか中途退学者なんか出ると私も想像はしてませんが、ぜひ頑張ってもらいたいですし、だから、何かこう、きちんと生徒の状況を把握してあるのかなと思ひまして。

○吉富教育長

どうぞ。お願いいたします。

○橋元教育政策課長

まず最初に、この奨学金につきましては、本市出身の篤志家からご寄附をいただき、始まった事業でありますので、奨学金を受け取られた方には、こういった形で頑張ってますというような内容の作文を書いています。

あと、奨学金なんですが、実は近年、辞退者が多く、それが懸案になっています。内容を見ると、例えば私立高校でしたら、例えば入学するだけの費用がタダになるだけではなくて、大学にも進学したら、その大学の入学資金もここから出るとか、そういった制度等がある関係で、大野城市の奨学金を使われる方がちょっと少なくなってきております。基準については今、高木委員さんもおっしゃっていただいたような内容を踏まえながら、今年度見直しを検討していかないといけないということで考えております。以前は給付型で返済が不要だったので、返済が要らないというだけで結構手を挙げていただいていたんですが、最近では他で返済不要の給付型が増えてきたり、あとは、国が援助する制度も出来てきました。大野城市の奨学金が、ちょっと時代に合わなくなってきてるのかなというところで、これから検討を進めて参ります。

○吉富教育長
いいですか。

○高木委員
はい。

○吉富教育長
ありがとうございました。
ほかにないようでしたら進めさせていただきます。

[その他]

- (1) 教育長の業務報告（10月分）
- (2) 教育委員会の主な行事・業務の予定（11月分）

○吉富教育長
以上をもちまして10月定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前10時35分 閉会